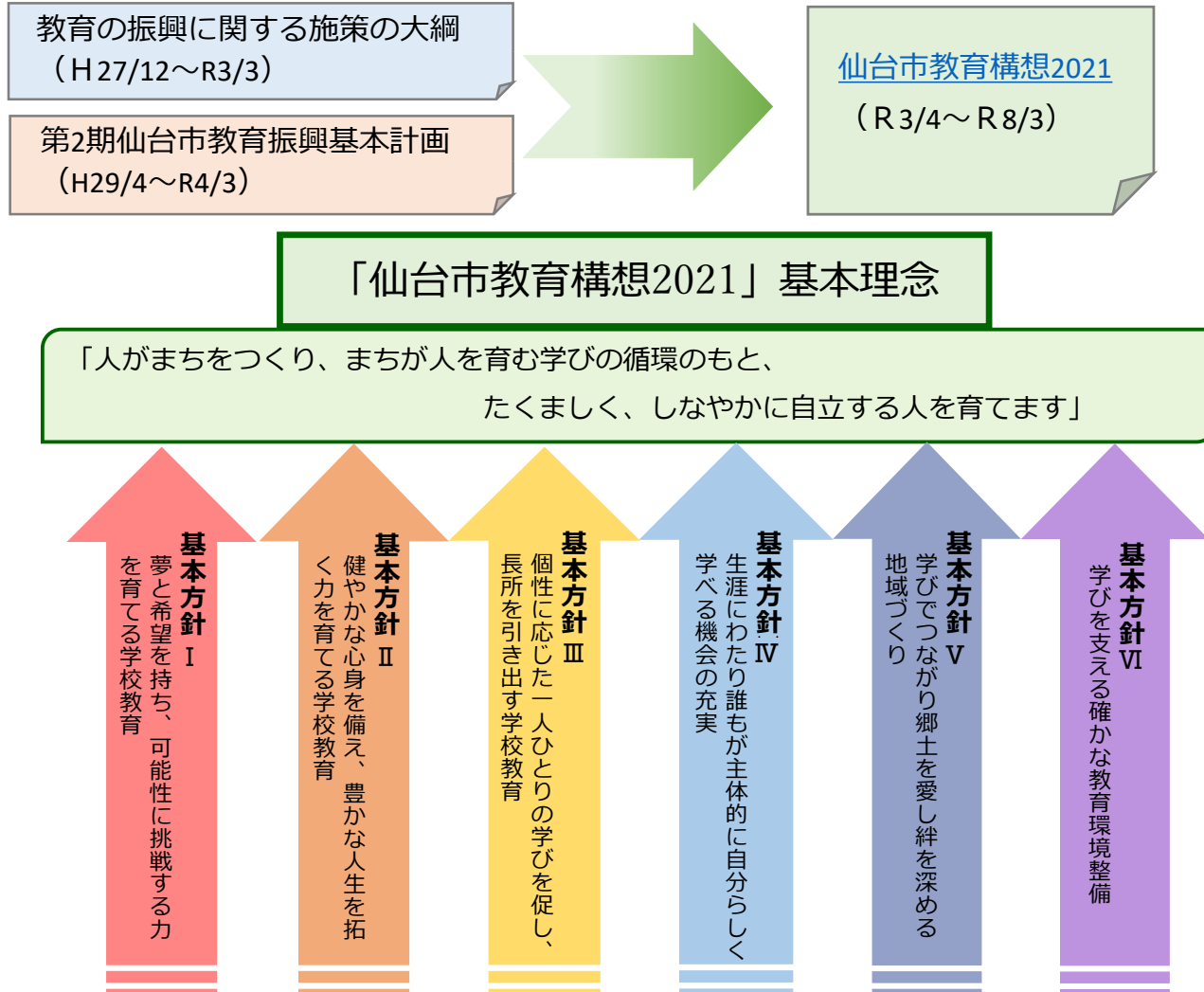


「仙台市教育構想2021」について

本市では、平成27年12月に策定した「教育の振興に関する施策の大綱」と平成29年1月に策定した「第2期仙台市教育振興基本計画」のもと、教育施策を推進してきました。

社会環境の変化が激しく将来の予測が難しい時代にあって、本市教育の理念と新しい方針を定めそのもとで効果的に教育を進めるため、「第2期教育振興基本計画」と「教育の振興に関する施策の大綱」を一体化し令和3年3月に「仙台市教育構想2021」を策定しました。



◎ 持続可能な社会づくりに向けて ～学校教育との関連から～

1 SDGsと教育

2015年（平成27年）に国連サミットで採択された持続可能な開発目標（SDGs）では、「誰ひとり取り残さない」を理念とし実現に向けた17の目標を掲げています。このうち教育は目標4「質の高い教育をみんなに」に掲げられ、全てのSDGsに関わる取組の基礎となるものです。

SDGsの理念や目標を実現していくためには、現代社会が直面する環境、貧困、人権、平和、開発といったグローバルな課題を自らの問題として捉え、身近なところから取り組むことにより、課題の解決につながる新たな価値観や行動を生み出していくことが求められます。



【SDGsの17の目標】

2 学校教育での取組

本市の学校教育においては、SDGsの理念や目標の実現に資する教育や活動を、各教科や総合的な学習の時間などでの学びを通じ、身近な地域課題を切り口としながら取り組んできました。今後、教育委員会作成の資料（※1）や様々な取組事例等を参考にしながら教育活動の充実を図り、児童生徒が持続可能な社会づくりを意識し、自ら考え、解決に向け行動することができるよう取組を推進します。

※1 仙台版SDGsガイドブック：SDGsの視点を踏まえた学習指導の留意点、教科等におけるSDGsに関連する指導内容を示した単元配列表や指導計画例などを掲載した指導用参考資料

令和7年度「杜の都の学校教育」が目指すもの

「仙台市教育構想2021」基本方針

- I 夢と希望を持ち、自らの可能性に挑戦する力を育てる学校教育
- II 健やかな心身を備え、豊かな人生を拓く力を育てる学校教育
- III 個性に応じた一人ひとりの学びを促し、長所を引き出す学校教育
- IV 生涯にわたり誰もが主体的に自分らしく学べる機会の充実
- V 学びでつながり、郷土を愛し絆を深める地域づくり
- VI 学びを支える確かな教育環境整備

たくましく、しなやかに自立する子どもを育てます

夢と希望を持ち、自らの可能性に
挑戦する力を育てる学校教育

- ・ 未来の創り手となるための力の育成
- ・ グローバルな視野で、夢や希望、将来の理想像を描くための学びの支援
- ・ ICTを活用した教育の推進

健やかな心身を備え
豊かな人生を拓く力を
育てる学校教育

- ・ 豊かな心の育成
- ・ 健やかな体の育成
- ・ 確かな学力の育成
- ・ 危機対応力の育成

個性に応じた一人ひとりの学びを促し
長所を引き出す学校教育

- ・ 多様性に応じた教育機会の確保
- ・ 一人ひとりに向き合える環境づくり
- ・ 魅力ある教職の実現

地域とともに歩む学校づくり
(学びの連携、コミュニティ・スクールの推進)

持続可能な開発目標 (SDGs)

令和7年度「杜の都の学校教育」の重点取組事項

未来の創り手となるための力の育成

～仙台自分づくり教育の推進～ 「人や社会との関わりを大切にしながら、将来の社会的・職業的自立に必要な態度や能力を育む」

- たくましく生きる力（かかわる力、うごく力、いかす力、みとおす力、みつめる力）の醸成を図る学校教育における指導実践の充実
- 職場体験活動や仙台子ども体験プラザでの学習等「働くこと」と「生きること」を題材とした活動をつなぐ指導の充実
- 地域で活躍する社会人講師による講話等、将来への夢、目標へとつなぐ教育活動の充実
- 児童生徒の学びを成長につなぐ「仙台自分づくりノート」の活用

豊かな心の育成

～命と心を守り育む教育～ 「他者との関わりや、様々な活動を通して、健全な心の育成を図る」

- 道徳教育の要である道徳科の授業の充実
- ～いじめの防止に向けて、「あなたならどうするか」を真正面から問うなど「考え、議論する道徳」の授業実践～
- 命を大切にすることや、互いを理解し、思いやる心の育成
- 善悪を判断する規範意識の醸成「いじめをしない、させない、許さない」 ○不登校の未然防止と教育、相談体制の充実

健やかな体の育成

～望ましい食習慣・運動習慣・生活習慣の確立を目指して～

- 「仙台市健やかな体の育成プラン2024」の取組を通して、望ましい食習慣・運動習慣・生活習慣を身に付け、毎日の生活を明るく、楽しく、生き生きと健康的に過ごすことができる児童生徒の育成を目指す
- 望ましい食習慣を身に付けるための食育の推進、体力向上を目指した運動の日常化の推進、健康への関心を高め規則正しい生活習慣の定着化の推進
- 「運動部活動の方針」に則り、安全面に配慮しながら、効果的・効率的な運動部活動運営の推進

確かな学力の育成

～学びに向かう力の向上を図る取組の推進～ ～魅力と活力のある高校教育の推進～

- 標準学力検査結果を基にした課題分析・授業改善の推進
- 認め合う学級、達成感を得られる授業による自己肯定感の向上
- 生活・学習状況調査等の結果を基に、家庭・地域と連携した児童生徒の基本的な生活習慣の形成及び学習習慣の確立
- 生徒一人ひとりの進路希望の達成と社会的・職業的自立を目指した、魅力と活力ある高校教育の充実

ICTを活用した教育の推進

～協働的で一人ひとりに適切な学びの推進～

- 「仙台市学校教育情報化推進計画」を基に、児童生徒が「これからの社会を、たくましくしなやかに生き抜く力を育む」ために、必要な資質・能力としての情報活用能力の育成に向け、GIGAスクール環境を活かした情報教育の推進
- デジタルドリルを活用した個別最適な学びと授業改善の推進
- 校務支援システム及び教育用クラウドを活用し、校務の情報化を推進した、効率的な校務処理と教育活動の改善

危機対応力の育成

～安心を創る「仙台版防災教育」～ ～子どもたちの安全・安心の確保～

- 平常時から災害に備え、災害時に自分の命を守り、安全を確保する「自助の力」の育成
- 平常時から他の人や地域の力となり、災害時の対応や地域の復興に協力し参画する「共助の力」の育成
- 学校、家庭、地域、関係機関との連携を密にした、幼児児童生徒の安全確保対策の充実

多様性に応じた教育機会の確保

～特別支援教育の充実～ ～不登校支援の推進～ ～様々な学びの求めに応じた支援の充実～

- 仙台市特別支援教育推進プラン2023を基にして特別支援教育を推進した、「大切なひとり 共に生きるみんな」の実現
- 不登校児童生徒の社会的自立や学びの多様化に向けた支援の充実
- 夜間学級における生徒一人ひとりの就学状況に応じた支援の充実
- 日本語指導が必要な児童生徒に対する支援体制の充実

一人ひとりに向き合える環境づくり

「教職員がより子どもに向き合える体制の整備」

- 教職員がゆとりを持ち、児童生徒一人ひとりとしっかりと向き合える体制づくり
- 児童生徒の良さを見出し、成長につなげていく教育を行える環境づくりの推進
- 主な取組 小学校教科担任制による指導体制の整備 等

魅力ある教職の実現

「働き方改革の推進とキャリアステージに応じた人材育成」

- 「仙台市立学校・園 教職員の働き方改革 取組指針」を基にしたワーク・ライフ・バランスの確保と、児童生徒へ充実した教育活動を行うために働き方改革の推進
- キャリアステージに応じた「豊かな人間力、実践的学習指導力、確かな生徒支援力、多様性への対応力、ICT・情報活用力」の向上
- コンプライアンス意識の更なる向上と服務規律遵守の一層の推進

地域とともに歩む学校づくりの推進

学びの連携の充実

- 幼保小の連携による幼保の育ちを活かした小学校生活への円滑な接続
- 「育む子ども像」に基づく、小中一貫教育の視点を取り入れた小中連携の深化、高度化
- 小中学校が連携した学力向上対策と接続期における不安の解消
- コミュニティ・スクールの制度を活かした学校運営の推進 ○「熟議」による対話、相互理解の促進
- 学校と地域がパートナーとして連携・協働した学校づくり

コミュニティ・スクールの推進

- コミュニティ・スクールの取組を広げ、地域総ぐるみでの教育の実現
- 学校支援地域本部等による学校と家庭・地域の組織的・継続的な連携・協働体制の構築
- 児童生徒の現状・課題から協働型学校評価重点目標を設定し、学校・家庭・地域それぞれの立場から「児童生徒のよりよい姿」の実現に向けた改善活動の継続的な取組

「たくましく、しなやかに自立する子ども」を育む5つのプラン

仙台市教育委員会では、令和5年度に策定した3つのプラン「仙台市学校教育情報化推進計画」「仙台市確かな学力育成プラン2023」「仙台市特別支援教育推進プラン2023」に加え、令和6年度から10年度までの5年間で取り組む「仙台市健やかな体の育成プラン2024」「仙台市子ども読書活動推進計画2024」を策定しました。「学校教育の情報化の推進」、「確かな学力の育成」、「特別支援教育の推進」に加え「健康教育の推進」「読書活動の推進」に向けた取組を、家庭、地域と連携して行いましょう。

仙台市健やかな体の育成プラン2024

目指す児童生徒の姿 「バランスよく食べて、進んで運動し、ぐっすり眠る、笑顔と元気あふれる仙台っ子」
プランの目標 「望ましい食習慣・運動習慣・生活習慣を身に付け、毎日の生活を明るく、楽しく、生き生きと健康的に過ごすことができる児童生徒の育成」を目指します。

目標達成のための6つの施策と取組

1 児童生徒の健康実態の把握と活用 これまでの健康実態調査を継続し、仙台市学力検査等と関連させながら、得られた結果を様々な取組に活用していきます。	2 学校・家庭・地域・関係機関との連携・協働 「健やかな体」の育成には、家庭・地域・関係機関との連携が必要です。学校を含む四者の協働した取組を推進します。
3 健康教育の充実と普及・啓発 健康教育に関する先進的な取組を支援していくとともに、実践の成果を広く普及させ、各学校における健康教育活動を推進します。	4 教員の資質能力の向上と指導の充実 教員の資質能力や指導力を高めるための研修会の実施や授業等に役立つ指導資料等の紹介を行います。
5 運動環境づくりの推進 児童生徒が日常的に運動に取り組むための環境づくりや中学生の持続可能な運動機会の確保のために運動環境の整備を推進します。	6 学校支援体制の構築 アスリート等専門分野人材の学校派遣や学校全体での取組につなげる資料の紹介など、学校を支援する体制を構築していきます。

仙台市子ども読書活動推進計画2024

計画の目的 子どもが他者と関わりながら生活の中で読書に親しみ、読書体験を通して心豊かに、しなやかに生きる力を育むことができる環境をつくる。

基本の方針と重点的な取組(学校教育に関わる内容は◎印)

- 方針1 子どもが読書に親しむ機会の提供**
- ◎多彩な読書活動の推進…読み聞かせ、ブックトーク、読書会等の読書活動推進や読書感文、読書新聞、読書クイズ等の表現活動等読書に関わる体験の充実
 - 乳幼児が本に触れるきっかけづくり
 - 小学生までの子どもに向けた家読の推進
 - 中高生(ヤングアダルト世代)への読書支援

- 方針2 子どもの読書環境の整備・充実**
- ◎デジタル社会に対応した読書環境の整備…学校図書館の情報化の推進、「せんだい電子図書館」の利活用
 - ◎多様な子どもたちの可能性を引き出すための読書機会の確保…障害の有無や母語とする言語に関わらず読書に親しめる環境の整備
 - ◎子どもの視点に立った読書活動の推進…子どもの希望も反映した図書の購入等蔵書整備の工夫と充実

- 方針3 子どもの読書に関する理解の促進**
- ◎保護者の理解促進…学校だよりや図書館だより等を活用した保護者に対する読書活動の意義の情報発信・啓発
 - ◎子ども読書の日(4月23日)等の推進…子ども読書の日等の周知等

- 方針4 家庭、地域、学校、図書館、ボランティアなどの連携・協力**
- 子ども読書活動についてのホームページの一元化

仙台市学校教育情報化推進計画

基本理念「これからの社会を、たくましくしなやかに生き抜く力を育む」
～子どもたちが主体的に学び取るために～

(1) 情報活用能力の育成

○これからの高度に発展した情報化社会を、「たくましく」「しなやかに」生きるために、必要な資質・能力としての情報活用能力を育成します。

(2) 学びに向かう力と、豊かな創造性の育成

○自らの学習を調整しながら粘り強く取り組む態度を育成し、多様な学びで児童生徒に豊かな創造性を育みます。

(3) 学校における働き方改革の推進

○学校の情報化を推進し、教員が児童生徒一人ひとりに向き合える環境づくりを進めます。

基本方針1

児童生徒が、ICTを適切に使いこなし、生涯学び続けるための資質・能力の育成

取組1 情報活用能力の育成

取組2 指導・学習のためのICT活用

取組3 学びを保障するためのICT活用

基本方針2

教員のICT活用指導力を高めるための支援体制の充実

取組 教員に求められるICT活用指導力等の向上

基本方針3

ICTを活用するための環境整備
取組 安全・安心なICT環境の構築

基本方針4

学校情報化の推進とICT活用の推進体制構築
取組1 学校の情報化の推進
取組2 教育の情報化に関する推進体制

仙台市特別支援教育推進プラン2023 「大切なひとり 共に生きるみんな」

(仙台市の特別支援教育が目指す理念)

基本的な考え方

- 4つの基本方針……ふかめる・たかめる・つくる・つなげる
- 育てたい子ども像……認め合い、学び合う仙台の子ども
- 目指したい学校の姿……家庭や地域と連携を図り専門性の高い指導・支援を実施
- 目指したい地域の姿……子どもが安全で安心して暮らすための理解の輪を拡大
- ICTの積極的な活用……子ども一人ひとりの力を最大限に引き出す教育の推進

基本方針Ⅰ

ふかめる

- A 児童生徒における相互理解の促進
- B 教職員における障害理解・障害者理解の促進
- C 保護者・市民に対する特別支援教育の理解促進

基本方針Ⅱ

たかめる

- D 教員の指導力・専門性の向上
- E 多様な教育的ニーズに応じた支援の充実
- F 実践的研究の推進

基本方針Ⅲ

つくる

- G 教育課程の適切な編成及び運用
- H 特別支援教育に関する教育環境の整備（基礎的環境整備と合理的配慮の提供）
- I 新たに現出する課題への対応

基本方針Ⅳ

つなげる

- J 切れ目のない一体的な支援の実現
- K 学校卒業後の社会参加の充実に向けた支援
- L 本プランの理念の共有

仙台市確かな学力育成プラン2023 ～すべての子どもたちの可能性を広げるために～

プランの目標「たくましく生きる力」を育みながら、確かな学力の要素である「基礎的知識・技能」の習得、「活用する力」の育成、「主体的な学習態度」の形成を目指します。
目標達成のための6つの領域

A：仙台自分づくり教育の充実 自分づくり教育を通して、子どもたちが人や社会と関わりながら、近い将来、社会で生きるために必要な「たくましく生きる力」を育みます。

B：確かな指導力の向上 学校や教員への支援を行い、教員の授業力・ICT活用指導力の向上を図ることで、子どもたちが分かる授業を実現し、「確かな学力」を育みます。

C：きめ細かな指導の充実 校種間の連携や少人数指導のための人的サポートなどを通して、学力の向上に向けたきめ細かな指導ができる体制を確立し、子どもたちの「確かな学力」を育みます。

D：学習環境の充実 子どもたちが授業に集中できること、教職員が子どもと向き合う時間を確保できる環境の整備をすること等、学習環境を整えることで、子どもたちの「確かな学力」を育みます。

E：家庭や地域との連携・協働 家庭における望ましい生活習慣と学習習慣の定着を目指し、家庭や地域との連携・協働を進めることで、子どもたちの「確かな学力」を育みます。

F：学力、生活・学習状況の的確な把握 子どもたちの学力の状況や生活習慣、学習習慣の的確に把握に努めます。分析結果から、「確かな学力」の育成に向けた施策の効果を検証し、改善に取り組みます。

5つのプランに共通する手立て

ICT活用

教育環境の整備

指導力の向上

業務改善

家庭・地域等との連携